

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	道南	北海道支部	(2)記載者氏名	海川 敏雄	会員番号	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 196
分水嶺区分	P819m ~ H232	799.1m ~ P690m; H231方向	(3)山行日	2005年	5月	20日	(4)天候	晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981			清水和男	13007			
片岡次雄	12093							
計				2名				
				計				1名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		奥二股キャンプ地 ~ 広河原 ~ 石崎越ノ沢 ~ 819m ~ 765m ~ H232 799.1 ~ 780m ~ 690m地点 (往復)											
アプローチ:		函館 ~ R228 ~ 福島町千軒 ~ 知内川林道 ~ 奥二股キャンプサイト											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	奥二股キャンプ地	大千軒岳	140	11	56.1	41	33	51.3	230		6:10		
分水嶺到達点	P819m	七ツ岳	140	10	58.3	41	35	23.4	822	9:00	9:10	B-4	(9)
	P765m	七ツ岳	140	11	16.5	41	35	51.3	766	10:00	10:15	B-4	(9)
H232	799.1m	七ツ岳	140	11	26.8	41	35	59.3	799	10:40	10:45	B-4	(8)・(9)
	P780m地点	七ツ岳	140	11	37.4	41	35	58.3	773	10:55	11:00	B-4	(9)
	P690m地点	七ツ岳	140	11	42.7	41	36	21.5	693	12:10	12:15	B-4	(9)
	(引き返す)												
分水嶺離別点	P819m	七ツ岳	140	10	58.3	41	35	23.4	822	15:10	15:10	B-4	(9)
歩行終了点	奥二股キャンプ地	大千軒岳	140	11	56.1	41	33	51.3	230	17:20		A - 2	
総歩行時間(休憩時間を除く):											10時間20分		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H232	799.1m				藪の中を探したが発見できなかった。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

799.1mの頂上は雪がすっかり解け、藪が大きく露出している。時間をかけて探したが、三角点はずいぶん発見できなかった。ここには、もともと三角点を置かなかったのではないかと考えるのが自然のようだ。

(9)水および植生に関連した特記事項

ほとんどがブナとタケカンパで、稜線上には笹やネガマリタケが密生している。

(10)その他の特記事項

大千軒岳知内川コースの奥二股キャンプ地に駐車。広河原経由、金山番所手前0.75km地点の沢(石崎越ノ沢)を詰めてP819mへ。分水嶺上 819 765 H232 799.1 780m地点 690m地点(799.1の北1km地点)を往復し、819m地点から往路を経て奥二股キャンプ地へ。 前回(七ツ岳 ~ 690m地点、5月14日実施)僅かに2.2kmを残し、無念の撤退を余儀なくされた「リベンジ山行」で、入山前から心中に燃えてくるものがあった。残り少ない雪のことを考慮に入れ、沢を詰めることにした。この判断は正しく、短時間で分水嶺に到達できた。尾根上には雪が無くなっていて、取り分け 780m ~ 690m地点 の藪漕ぎには苦勞させられた。これで道南最先端の白神岬から焼山までを踏査したことになる。やはり、嬉しい…の一言。
---

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: